

2024年度前期「企画に対する学生評価」

科目全体の講義企画に対する学生評価

あなたの履修態度・理解度について	問1 事前に教科書や講義資料を読むなど予習をしましたか。
	問2 この科目はどのくらい理解できましたか？
	問3 授業の復習を毎回しましたか。
目的の達成	問4 科目の一般目標を達成することができましたか。
科目内容	問5 あなたにとって科目全体の難易度は適切でしたか。
総合評価	問6 この科目は全体として満足できるものでしたか。

- | | |
|-------------|-----------|
| ⑤ 強く思う | (非常に良い) |
| ④ やや思う | (良い) |
| ③ どちらとも言えない | (普通) |
| ② あまりそう思わない | (あまり良くない) |
| ① 全くそう思わない | (良くない) |

科目名：自然科学入門（物理系）

（医学科第1学年前期／必修）

履修者数：24 配付数：24 回収数：24 回収率：100.0%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.9	3.3	3.6	3.7	3.3	4.1

*評価に対するコメント

自然科学入門（物理系）担当教員

全体としての満足度は4.1でおよそ例年と変わらなかった。個別の項目では、予習についての項目が2.9と昨年より0.4ポイント低下しており、例年と比べてもやや低い。開講期間の短い講義であり、進行速度の速い講義であるから予習復習の重要性を認識してもらう事をより徹底していきたい。

科目名：自然科学入門（化学系）

（医学科第1学年前期／必修）

履修者数：1 配付数：1 回収数：1 回収率：100.0%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0

*評価に対するコメント

自然科学入門（化学系）担当教員

本科目では高校化学から医学科1年生の基礎化学への接続教育を目的としています。今年度の受講生は幅広い興味と様々な疑問をもっており、それらに答える対話形式で講義しました。具体的には、どのような歴史的背景や社会的背景があり、科学が発展してきたのかを俯瞰する視点で説明しました。また、具体的な例を挙げながら、学問を俯瞰する視点で色々なことが結びつけて理解できることも説明しました。今後の勉強につなげてもらいたいと考えています。

科目名：自然科学入門（生物系）

（医学科第1学年前期／必修）

履修者数：70 配付数：68 回収数：68 回収率：100.0%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.0	4.2	3.2	3.9	4.3	4.5

*評価に対するコメント

自然科学入門（生物系）担当教員

講義は1コマ60分のうち、講義を40分、質問対応を10～15分とし、残りを小テストとしました。質問は口頭ならびにmanaba上で受け、口頭で回答しました。質問は毎回あり活発で、学生からは「疑問点を残さず次の授業に進めた」とのコメントがありました。また、コロナ渦（2020年度）にオンライン授業用で作成した、manabaによるブログ形式の講義資料を今年も公開しましたが、「予習復習に役立った」などのコメントが複数あり、質問対応と合わせて、4.5の総合評価に繋がったと考えます。

科目名：基礎生物学

(医学科第1学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：91 回収数：91 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.0	3.8	3.2	3.7	3.7	3.9

*評価に対するコメント

基礎生物学担当教員

令和6年度の基礎生物学の評価は前年度に比べると低めでした。講義内容と授業方式そのものは例年と変わりありませんが、当科目の短期間に集中した講義（前期だけで38コマ）により、授業内容の進行の速さに対応しきれない学生が多かった印象があります。来年度はもう少し授業内容を吟味し、その上で将来的に当科目を前期だけでなく後期に分散した方がいいかどうか検討する予定です。

科目名：統計学

(医学科第1学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：85 回収数：84 回収率：98.8%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.5	3.3	2.7	3.4	3.3	3.7

*評価に対するコメント

統計学担当教員

問1、問3の平均が低めでした。統計学を理解するために、予習、復習はとても重要です。分からないことを、予習段階で整理することを強く勧めます。忙しくて予習ができないこともあるかも知れませんが、講義ではどんなことを学習するのか、事前に目を通しておくの良いです。また、今後は統計学を学ぶ動機づけを高めるため、医療に関する例題をさらに増やせればと思います。

科目名：情報リテラシー

(医学科第1学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：87 回収数：86 回収率：98.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.5	3.7	2.5	3.8	3.8	3.9

*評価に対するコメント

情報リテラシー担当教員

Thank you for your review. The faculty members say that the students have achieved your goals. There is no description of what is good or what is not good, so they don't know what needs to be improved. The content and speed of the lectures have been well considered. In addition, while checking these points during the lecture, they effectively changed the way they explained and the time allocation as appropriate.

科目名：心理学

(医学科第1学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：95 回収数：95 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.7	3.8	2.7	3.7	3.6	4.1

*評価に対するコメント

心理学担当教員

本科目は基礎心理学と発達心理学および臨床心理学の知識を学ぶことを目的としている。ポイントごとに短い動画教材を併用し、心理学に対する理解を具体的なものにできるように心掛けた。自由記載では「動画を用いた説明が分かりやすかった」とのコメントがあった。一方で「資料の提示速度が速すぎる」との意見があった。授業担当者間で見やすい資料の提示方法を共有し、改善していく必要がある。また、心理学の扱うテーマが多岐にわたっていることから、「試験が大変であった」とのコメントも見られた。来年度は小テスト等を活用しながら、こまめに振り返りが出来るように改善していきたい。

科目名：数学

(医学科第1学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：88 回収数：87 回収率：98.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.6	3.3	2.7	3.4	3.4	3.7

*評価に対するコメント

数学担当教員

問1（予習）、問3（復習）の平均が低かったです。数学は、自分の手を動かさなければ決してできるようにならないので、講義資料の例題や課題を独力でできるまで反復練習をしましょう。また分からないことがあれば、どんどん質問しましょう。

科目名：初年次セミナー

(医学科第1学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：85 回収数：84 回収率：98.8%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.3	3.1	2.0	3.2	3.2	2.8

*評価に対するコメント

初年次セミナー担当教員

授業満足度が2.8（回収率98.8%）と前年度の3.6を大きく下回りました。この授業はアカデミックライティングを中心に、学士課程に必要なアカデミックスキルに触れる科目です。令和4年医学教育モデルコアカリキュラムで設定された「IT」に関する項目に触れてもらうことも必要でしたが、各種トラブルが重なり実現しませんでした。上級学年では文章を記載する能力がさらに必要になります。ITも駆使していけるよう願っています。

科目名：地域医療学

(医学科第1学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：95 回収数：73 回収率：76.8%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	4.1	2.7	4.1	4.2	4.2

*評価に対するコメント

地域医療学担当教員

現役で地域医療に携わっている医師から直接地域医療の実際を聞く機会は極めて貴重であり、それを反映して満足度は4.2と非常に高かった。来年度も同様の形式で継続する。

科目名：医療社会学

(医学科第2学年前期／必修)

履修者数：101 配付数：97 回収数：81 回収率：83.5%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.4	4.0	2.6	3.9	4.3	4.2

*評価に対するコメント

医療社会学担当教員

患者とのコミュニケーションに関する内容が学生の意欲を喚起しているようです。来年度以降は、医学教育モデル・コア・カリキュラムを踏まえること、患者とのコミュニケーションを扱う「医療社会学実習」との関連性を示すことを念頭に置いて、今年度の授業内容を改善したいと考えています。

科目名：医療概論Ⅱ

(医学科第2学年前期／必修)

履修者数：101 配付数：100 回収数：86 回収率：86.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.0	3.9	2.9	4.0	4.1	4.1

*評価に対するコメント

医療概論Ⅱ担当教員

医師のプロフェッショナリズム、臨床と研究の倫理的対応について基本的な部分を理解し、グループワークでも積極的に議論できたと思います。社会の変化、制度の変更などの影響が大きい分野なのでこれからも勉強を続けて下さい。

科目名：機能形態基礎医学 I

(医学科第 2 学年前期／必修)

履修者数：103 配付数：103 回収数：83 回収率：80.6%

*評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
3.6	3.8	3.3	3.9	3.5	3.9

*評価に対するコメント

機能形態基礎医学 I 担当教員

昨年に引き続き、本年度も COVID-19 蔓延時に培ったノウハウを活かし講義室での対面授業と学修支援システム manaba 上でのオンライン授業の併用という形でこの科目を実施した。この方式により、近年本学に増えてきたそもそも勉学に対するモチベーションの低い学生にも、最低限の組織学的知識・理解を教授することができるようになったと思う。

科目名：生化学 I

(医学科第 2 学年前期／必修)

履修者数：101 配付数：101 回収数：60 回収率：59.4%

*評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
3.3	3.7	3.2	3.7	3.7	3.9

*評価に対するコメント

生化学 I 担当教員

医学系講義は医学 2 年の生化学から始まる。一年目に比べ急に講義の量が増えるので、しっかり計画した大学勉学の習慣をつけて、それ以降の学年もスムーズに進めるかいなかの分水嶺の学年になる。冒頭に、生化学に限らず、臨床との繋がりとしての基礎医学の意義を概説し、学習モチベーションをあげてもらいつつ、医学部での勉強の仕方を冒頭講義に導入しています。本講義のメインである「代謝」は、最終的に、糖、脂質、タンパク代謝のすべてを統合的に理解しなければ、臨床医学にも応用できない点を強調し、それぞれの代謝各論に「横櫛」をいれた復習を兼ねた「統合代謝」講義を最終に加えた。聴講した学生の多くから高い評価を得る一方、急に増える講義（知識）量に対応できず？理解度の低い群と二極化しておりました。学生評価や試験結果などから、生化学 1 にその傾向が強くありました。今後も、ひきつづき、学生が満足できるよう、教員側もポイントを押さえたメリハリのある講義内容や講義資料の改良を不断に続けていきたいと思えます。

科目名：生化学Ⅱ

(医学科第2学年前期／必修)

履修者数：101 配付数：100 回収数：77 回収率：77.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.8	2.9	3.6	3.7	3.9

*評価に対するコメント

生化学Ⅱ担当教員

医学系講義は医学2年の生化学から始まる。一年目に比べ急に講義の量が増えるので、しっかり計画した大学勉学の習慣をつけて、それ以降の学年もスムーズに進めるかいなかの分水嶺の学年になる。冒頭に、生化学に限らず、臨床との繋がりとしての基礎医学の意義を概説し、学習モチベーションをあげてもらいつつ、医学部での勉強の仕方を冒頭講義に導入しています。本講義のメインである「代謝」は、最終的に、糖、脂質、タンパク代謝のすべてを統合的に理解しなければ、臨床医学にも応用できない点を強調し、それぞれの代謝各論に「横櫛」をいれた復習を兼ねた「統合代謝」講義を最終に加えた。聴講した学生の多くから高い評価を得る一方、急に増える講義（知識）量に対応できず？理解度の低い群と二極化しておりました。学生評価や試験結果などから、生化学1にその傾向が強くありました。今後も、ひきつづき、学生が満足できるよう、教員側もポイントを押さえたメリハリのある講義内容や講義資料の改良を不断に続けていきたいと思えます。

科目名：免疫学

(医学科第2学年前期／必修)

履修者数：101 配付数：90 回収数：76 回収率：84.4%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.9	3.3	3.9	3.9	4.0

*評価に対するコメント

免疫学担当教員

問5、6で、いずれも4点前後の評価でした。おおむね、免疫学に対する理解が深まったと考えます。免疫学は多領域にまたがり、内容的にもファジーで難しい学問領域です。本学では専門の講座がないため、多くの講座の先生によって開講されており系統だって学習しにくい面があると思います。ぜひ学生諸君には、自ら学ぶ姿勢で、講義で疑問が生じた際には、遠慮なく教官の方へ質問して下さい。教科書を全て読む必要はありませんが、指定した教科書は分かりやすく書かれており、ポイントをふまえて読めば、理解の助けになります。講義資料の図が不明瞭、教科書から引用されて分かりにくいという指摘がありましたが、そうであれば、ぜひ指定した教科書を購入して学習してください。試験に関しては、事前に出題ポイントを提示しており、基本的な出題となっていますので、最低6割を取れるような答案を望みます。

科目名：医学英語Ⅲ

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：98 配付数：91 回収数：80 回収率：87.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.7	4.2	3.1	4.2	4.1	4.5

*評価に対するコメント

医学英語Ⅲ担当教員

医学英語Ⅲは、学生のみなさん全員が取り組む e-learning コースと、講師ごとに分かれて行う選択コースの組み合わせで展開しました。皆さんは、課題の意図を理解し、しっかり取り組んでくれたという印象を持っています。2023年度は、出席状況が問題となるケースが散見されましたが、今年度はこの問題は改善されました。今後は、皆さんからのフィードバックをもとに、課題の提示方法やアクティビティに対する評価方法を工夫したいと考えています。

科目名：医療概論Ⅲ

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：100 配付数：92 回収数：88 回収率：95.7%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	4.0	3.1	4.0	4.2	4.3

*評価に対するコメント

医療概論Ⅲ担当教員

補完医療としての漢方の授業を行っているが、座学のみではなく演習を加えることが、学生の満足度の高さにつながっていると考えている。来年度も同様の形式で継続する。

科目名：病理学

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：91 配付数：82 回収数：57 回収率：69.5%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.6	3.2	3.6	3.5	3.9

*評価に対するコメント

病理学担当教員

腫瘍病理担当分野で内容が一新されましたが、ほぼ全ての項目において平均3点台の評価であり、問題なく展開されたと考えております。難易度に関しては3.5で昨年の3.4とあまり変化がありませんでした。これは、一コマ60分の授業で教える内容がやや過大という指摘があり、今後改善が必要であろうと考えます。しかしながら、予習、復習によって、学生自身の理解度が向上しますので、各人の学習によってある程度克服してほしいと思います。

科目名：心肺病態制御医学

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：98 配付数：95 回収数：73 回収率：76.8%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	3.9	3.2	3.9	4.0	4.3

*評価に対するコメント

心肺病態制御医学担当教員

学生からのコメントでは、循環器・呼吸器のいろいろな分野が入り乱れて組まれている上、時間割変更が多すぎて、授業内容を理解するのに苦労したという内容が上がってきました。コーディネートする側として、できるだけ理解が進むよう、そしてできるだけ変更が最小限になるよう次年度に引継ぎ臨みたい。一方、予習・復習とも3.2点と例年と同様であり、講義の前後で時間をあけずに予習・復習を行い、理解を深めていただきたい。

科目名：生体調節医学

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：100 配付数：82 回収数：54 回収率：65.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.5	3.9	3.2	3.9	4.1	4.2

*評価に対するコメント

生体調節医学担当教員

生体調節医学は、糖尿病、内分泌、腎泌尿器疾患に関して、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、腎泌尿器科、小児科、耳鼻咽喉科の各所属教員により開講されている。評点としては講義に対する理解度や満足度は高い一方で、予習・復習についての点数が低いことが気がりである。やや難解な内容も含まれる領域であるため、理解や知識の定着のために事前・事後の自発的な学習が望ましい。

科目名：消化器医学

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：97 配付数：97 回収数：70 回収率：72.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.9	3.3	3.9	3.9	4.2

*評価に対するコメント

消化器医学担当教員

今年度は新カリキュラムとなり講義時間数が大幅に減少したため、一部の講義では内容が濃密となり難易度が上がったようである。授業評価アンケートは回収率が72.2%と高かった。評価は概ね例年通りのようである。定期試験が難しかったというコメントもあったが、ここ数年は成績が全体に良好な状態が続いており、manabaの講義資料と小テスト併用により効率よく学習できているものとする。

科目名：医療概論Ⅳ

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：114 配付数：113 回収数：111 回収率：98.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	3.5	3.1	3.6	3.7	3.8

*評価に対するコメント

医療概論Ⅳ担当教員

満足度は3.8とそれほど高くなかったが、コメントには改善を求めるものはなかった。来年度は、多職種連携の演習を加える予定であり、今後も授業改善に取り組んでいく。

科目名：医療情報学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：114 配付数：113 回収数：108 回収率：95.6%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.9	3.5	2.9	3.4	3.3	3.6

*評価に対するコメント

医療情報学担当教員

講義内容については、セキュリティやAIなどタイムリーな話題などを講義のなかに盛り込んで改善を行っています。しかしながら、全体満足度として改善の余地があるため満足度向上のためさらなる改善を検討していきたいと思います。また、意見にあった小テストの実施についても検討したいと思います。

科目名：医療安全

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：114 配付数：114 回収数：112 回収率：98.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	3.7	3.1	3.8	3.8	3.9

*評価に対するコメント

医療安全担当教員

今年度もTBLを1日(2コマ)入れるなど、前年度同じ授業形態を取りました。定期試験が講義最終日の翌日だったこともあり、試験結果も大変良くみなさんしっかりと学んでいたと思います。ぜひ臨床実習の現場でも患者安全を含む医療安全を学び続けてください。

科目名：衛生・公衆衛生

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：114 配付数：113 回収数：108 回収率：95.6%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.9	3.2	3.0	3.3	3.2	3.4

*評価に対するコメント

衛生・公衆衛生担当教員

昨年に続きコロナ禍の影響を引きずっているのかもしれませんが、出席の悪さが目立ちました。今後は衛生・公衆衛生で学んだことを元に、医療の社会的な側面の理解を深め、考えていくことにより医療者としての適切な実践に役立ててもらえればと考えています。

科目名：法医学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：114 配付数：114 回収数：95 回収率：83.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	3.7	3.3	3.7	3.9	4.0

*評価に対するコメント

法医学担当教員

法医学は、基礎医学の中の社会医学に分類され、的確な死体検案書を書ける臨床医になるために必要な知識を教える科目である。学生サイドから「写真が具体的でわかりやすかった」「内容が興味深いものであった」等の感想が寄せられた。授業評価の評点からも概ね有意義な講義であったと言えよう。臨床現場で実際に法医学的思考が必要となった時に、的確な問題解決能力を発揮して頂きたい。

科目名：腫瘍学2

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：114 配付数：112 回収数：110 回収率：98.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.0	3.6	3.1	3.5	3.5	3.8

*評価に対するコメント

腫瘍学2担当教員

腫瘍学2のコーディネーターを担当しておりました、腫瘍センターの田邊裕貴です。まずは学生評価の提出について感謝いたします。98.2%という極めて高い回収率で、予習や復習を多くの学生さんがされていることに驚いています。腫瘍学2は最新の情報を担当科の先生に講演していただいております、毎年新しいエビデンスが出現して内容がアップデートされています。国家試験のためにとどまらず、患者を意識して学習を継続していただきたい。

科目名：整形外科学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：114 配付数：114 回収数：114 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.6	3.2	3.7	3.8	4.0

*評価に対するコメント

整形外科学担当教員

評価平均は3.1～4.0と概ね例年通りであった。予習、復習の評価が全体の中では低めであり、これらを改善する方法を検討していきたい。難易度は3.8であり、ちょうど良いと考えられるが、近年正答率が高すぎるという指摘もあり、過去の問題の流用を少なくし、より国家試験やCBTの問題に近い新作問題を作成できるように努力していきたい。

科目名：麻酔科学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：114 配付数：113 回収数：110 回収率：97.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.8	3.2	3.7	3.7	3.9

*評価に対するコメント

麻酔科学担当教員

今年も当科講義に対する一定の満足度を得ることができたものと思っております。ただし、講義に対する改善のコメントを数点いただきましたので、次年度からは講義を行う教員内で周知し、できるだけ反映するように努めます。今後ともより一層、学生満足度を高める取り組みを続けていきたいと思っております。

科目名：救急医学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：114 配付数：114 回収数：110 回収率：96.5%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.5	3.1	3.5	3.5	3.8

*評価に対するコメント

救急医学担当教員

問1問3の「事前に予習をしたか？復習したか？」はいずれも3.1と高くなかったが、問2問4問5の「理解度、目標達成度、難易度」は3.5だった。また、問6の「満足度」は3.8であり、学生評価からは講義の理解度はある程度高かったと考えられる。今後もわかりやすく興味のある内容を伝えるよう工夫していきたい。

科目名：症候別・課題別講義

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：114 配付数：114 回収数：110 回収率：96.5%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	3.5	3.2	3.5	3.5	3.7

*評価に対するコメント

症候別・課題別講義担当教員

症候別課題別講義は4月から開講され、講義のテーマは文部科学省のコアカリ37症候を基本に構成されており、卒業時までには修得すべき知識を中心に講義をしていただいております。授業評価ではボリュームがやや多い、チュートリアルに進達度に合わせて授業を行ってほしい、CBTに準拠するように講義を構築してほしい等の意見がありました。今回の授業評価結果を参考にして、今後も授業の改善に努めていきたいと考えております。

科目名：臨床放射線学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：114 配付数：114 回収数：88 回収率：77.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.0	3.4	3.1	3.4	3.3	3.7

*評価に対するコメント

臨床放射線学 医4担当教員

アンケート結果に関しては担当教員の間で情報を共有して、可能な範囲で検討したいと思います。放射線科という内容の性質上、画像も多く、スライド等では難しく感じる部分もあるかもしれませんが、講義内容やスライド枚数・表示方法等含め、今後もニーズに沿ったより良い講義を行いたいと考えています。医師国家試験を意識することは当然ですが、試験の合格のみが目標ではなく、今後の医師人生に有用な考え方を身に着けることが重要と考えています。実習でも頑張ってください。

科目名：臨床検査学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：114 配付数：113 回収数：108 回収率：95.6%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.8	3.7	2.8	3.6	3.5	3.7

*評価に対するコメント

臨床検査学 医4担当教員

理解度、目標達成、難易度、全体の満足度は3.5～3.7点と昨年度より低下して、予習・復習は2.8点と特に低くなりました。6人の担当教官が新しくなり、より専門性が高い講義となりましたが、昨年と内容が変わった影響が大きいと考えます。Manabaを用いて事前配布する資料を工夫し、小テストを併用することで、重要な点をよりわかりやすくします。臨床検査医学は多くの分野に関わる科目にて、さらに充実した授業を目指します。

科目名：臨床薬剤・薬理・治療学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：114 配付数：114 回収数：112 回収率：98.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.9	3.3	2.9	3.3	3.3	3.6

*評価に対するコメント

臨床薬剤・薬理・治療学担当教員

満足度については、一定の評価がありました。一方、「成績の評価基準をより明確にして欲しい」など、改善に対する提案が寄せられましたので、教育の質向上の観点からも、改善する予定です。

臨床薬剤・薬理・治療学は、広く薬剤に関する領域を扱い、医薬品の適正使用に重要な位置を占めています。学生が意欲的に学びを進めていけるように、今後も充実した内容の準備をしていきます。

科目名：臨床疫学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：114 配付数：112 回収数：111 回収率：99.1%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.3	3.1	3.4	3.2	3.4

*評価に対するコメント

臨床疫学担当教員

統計学や総合的な医学知識が必要で、EBMへの対応に必須な知識を学ぶこととなりますが、単なる暗記と異なる部分もあるため、少々対応が難しかった学生もいたようです。今後も臨床疫学についてはアップデートを続けていってください。

科目名：健康弱者のための医学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：114 配付数：114 回収数：104 回収率：91.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.0	3.6	3.0	3.5	3.6	3.7

*評価に対するコメント

健康弱者のための医学担当教員

何らかの身体的問題を抱えながら社会生活を営んでいる健康弱者の病態や心理状態を理解してもらえるように、様々な観点から実務に携わる講師に授業をお願いした。全体としての評価は3点台で高いものではなかった。授業中の学生の様子を見る限り、臨床現場に出る前の学年ではあまり関心を持ってない内容も含まれていたかもしれない。しかし現場に出れば対応すべき事象であり、しっかり復習してくれることを期待したい。

科目名：情報リテラシー

(看学科第1学年前期／必修)

履修者数：60 配付数：57 回収数：56 回収率：98.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.2	3.6	2.1	3.8	3.5	3.8

*評価に対するコメント

情報リテラシー 看担当教員

Thank you for your review. The faculty members say that the students have achieved your goals. There is no description of what is good or what is not good, so they don't know what needs to be improved. The content and speed of the lectures have been well considered. In addition, while checking these points during the lecture, they effectively changed the way they explained and the time allocation as appropriate.

科目名：初年次セミナー

(看学科第1学年前期／必修)

履修者数：60 配付数：60 回収数：60 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.9	4.3	2.3	3.9	4.2	4.3

*評価に対するコメント

初年次セミナー 看担当教員

今年度、担当教員が変更となり、授業内容も大きく変えました。そのため教員にとっては試行的な授業展開となりました。そんな中で一定の評価と色々なコメントをいただきました。コメントは来年度に活用したいのと、レポートに関して作成してくれたものを使い、学生が丹念に振り返りながらより良いものになるような授業の改善を考えています。

科目名：看護社会論

(看学科第1学年前期／必修)

履修者数：59 配付数：58 回収数：58 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.7	4.2	2.5	3.9	4.3	4.4

*評価に対するコメント

看護社会論担当教員

今年度は、日本社会の現状および今後の状況を考察するきっかけを与えるような授業を目指しました。学生評価のスコアをみると、担当者の意図は伝わっているようです。社会情勢の変化に応じて授業内容を変えていくことで、今後も学生の興味や関心を喚起する内容にしたいと考えています。

科目名：栄養学

(看学科第1学年前期／必修)

履修者数：60 配付数：58 回収数：58 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.9	4.0	2.6	3.7	4.2	4.4

*評価に対するコメント

栄養学担当教員

回収率は100%でした。皆様のご協力に感謝いたします。問2理解度、問5難易度、問6満足度が4.0以上の評価で、自由記載でも楽しかったとのコメントがありました。今後、良い授業が続けられるよう教員一同努力していきたいと思えます。

科目名：発達心理学

(看学科第1学年前期／必修)

履修者数：60 配付数：59 回収数：58 回収率：98.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.6	4.0	2.5	3.8	4.0	4.4

*評価に対するコメント

発達心理学担当教員

本科目は医療従事者に必要な基礎心理学と発達心理学の知識を学ぶことを目的としている。3コマ連続の講義であり、出来るだけ飽きが来ないようにポイントごとに動画教材を併用したり、リアルタイムで結果を共有できるアンケートを実施するなどの工夫を行った。その結果、「具体例が豊富で分かりやすかった」「理解が深まった」等のコメントが寄せられた。一方で、扱うテーマが多岐にわたることもあり、試験範囲が広く大変だという感想も聞こえてきた。来年度は小テスト等も活用しながら、こまめに振り返りが出来るように工夫したい。

科目名：コミュニケーション論

(看学科第1学年前期／必修)

履修者数：60 配付数：59 回収数：59 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	4.2	2.7	4.0	4.3	4.4

*評価に対するコメント

コミュニケーション論担当教員

今年度も事例を提示して考えてもらうことを大切に授業を意識しました。全体評価を見ると学生は概ね学習目標を達成したと判断しています。現在、学習目標は知識領域が中心となっておりますが、来年度はITを活用した双方向のコミュニケーションや演習を取り入れ、技能や態度面の獲得も目指していきたいと考えています。

科目名：英語ⅡA・ⅡB

(看学科第2学年前期／必修)

履修者数：59 配付数：59 回収数：59 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
4.2	4.0	2.9	3.8	4.0	4.3

*評価に対するコメント

英語ⅡA・ⅡB 担当教員

例年行ってきた授業のスタイルを大幅に変更し、今年度は映画を教材として授業を行いました。大部分の学生さんはきちんと予習を行い、授業中もしっかり取り組んでいたという印象を持っています。この授業を通じて、医療現場に役立つ語彙を身につけること、生きた英語を理解できるようになること、生と死について考えることにより優れた医療従事者を目指すこと、以上の三点を達成できたと実感していただけたら幸いです。

科目名：統計学

(看学科第2学年前期／必修)

履修者数：59 配付数：58 回収数：58 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.5	2.5	2.6	2.9	2.4	3.2

*評価に対するコメント

統計学 看担当教員

全体的に平均が低かったです。特に問5の難易度についての平均が他より若干低かったようです。ただ、わからない、難しいという割に質問が少ないように感じました。初学者なのでわからないところがあるのは当然です。わからなければどんどん質問しましょう。

科目名：感染制御学

(看学科第2学年前期／必修)

履修者数：59 配付数：58 回収数：58 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.6	3.3	3.8	3.7	3.9

*評価に対するコメント

感染制御学担当教員

感染制御学は今年度、コーディネーターが変更となったが、講義実施については大きな混乱もなく実施することができた。講義全体に対する学生の評価は3.9（問6）と4.0を下回っている。自由記載の欄に講義資料についての不満等が散見されるので、次年度に向けて改善を目指したい。次年度は再びコーディネーターが変更となるため、引き継ぎを徹底し不要な混乱を招かない様努力したい。

科目名：臨床病態治療学 I（精神・小児・婦人科系疾患）

（看学科第 2 学年前期／必修）

履修者数：59 配付数：59 回収数：59 回収率：100.0%

*評価結果（平均）

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
3.2	3.8	3.1	3.9	3.8	4.1

*評価に対するコメント

臨床病態治療学 I（精神・小児・婦人科系疾患）担当教員

臨床病態治療学 I は今年度コーディネーターが変更となり、講義の日程調整、試験の実施などがこれまでと比べやや円滑性に欠けたと思われるが、各担当教員のご努力により例年と変わらない学生評価を得た。次年度はまたコーディネーターが変更となるが、引き継ぎを緊密にし、円滑な講義の実施を図りたい。

科目名：健康教育論

(看護学科第2学年前期／必修)

履修者数：59 配付数：59 回収数：59 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.0	3.6	2.9	3.6	3.8	3.8

*評価に対するコメント

健康教育論担当教員

健康教育論は、看護師が患者様の気持ちや立場を理解するために必要な知識を身に付ける大切な講義です。今年度、多くの学生の皆さんから「講義内容が理解できた」との評価をいただきました。一方で、一部の学生にはさらに理解を深めるためのサポートが必要だったことを認識しています。来年度は、よりわかりやすい教材や、学生同士の意見交換の機会を増やすなど、より多くの学生が満足できる講義を目指して取り組んでいきたいと考えています。

科目名：看護理論

(看護学科第2学年前期／必修)

履修者数：59 配付数：56 回収数：55 回収率：98.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
4.5	3.8	3.3	3.8	3.7	4.1

*評価に対するコメント

看護理論担当教員

本科目は学生のピアレクチャーを中心とし、事前学習も課しています。問1（予習）4.5、問2（理解）3.8、問4（目標達成）3.8、問6（満足度）4.1とおおむねよい評価でした。自由記載には「予習は大変だったが理解を促進した」「意外と面白かった」とある一方で、「難しかった」「教員の助言だけではなくまとめをもっと入れたほうが良い」といった感想もありました。学生のプレゼン内容は事前に確認し、不足は最後に補っています。次年度に向けてさらに工夫をはかっていきたいと思えます。

科目名：成人看護学Ⅰ（健康状態と看護）

（看護学科第2学年前期／必修）

履修者数：59 配付数：58 回収数：56 回収率：96.6%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.4	3.8	3.3	3.8	3.8	3.9

*評価に対するコメント

成人看護学Ⅰ（健康状態と看護）担当教員

この科目は第2学年の前期必修科目です。試験日に評価を取ったためか回収率が約97%と高かったです。科目の特性上、総論や概論的な内容が多いためか、理解や難易度の評点が3点から5点を中心となり学生の個人差を感じますが、例年と変化はありません。全体の評点のばらつきとしては、学生自身の学習状況が3点台の前半と低めですが、それ以外は3点台の後半であり、良好であったと考えます。

科目名：精神看護学Ⅰ（個人と社会における精神保健）

（看護学科第2学年前期／必修）

履修者数：59 配付数：60 回収数：60 回収率：100.0%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.4	3.8	3.3	3.8	3.9	4.0

*評価に対するコメント

精神看護学Ⅰ（個人と社会における精神保健）担当教員

精神看護領域にかかわる現象や問題を身近に感じてもらえるように授業資料も工夫しておりますが、授業時間に比して分量が多くなっていることが考えられます。担当者としては復習で活用してもらいたいとの思いがあるのですが、十分に学生に伝わっていないとふり返っております。来年度は、「何を」予習・復習で活用するのかということを具体的に示していくなど、予習復習の改善を図っていきたいと考えています。

科目名：臨床薬理学

(看学科第3学年前期／必修)

履修者数：60 配付数：59 回収数：56 回収率：94.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.3	3.1	3.3	3.3	3.4

*評価に対するコメント

臨床薬理学担当教員

臨床薬理学は今年度講義日程の変更が頻回に渡り、学生に混乱を与えてしまったことが反省点となった。そのため学生の評価も問6が3.4と低めの結果となっている。この混乱は今年度から新コーディネーターになり、不慣れから起きた授業担当教員との連絡の不徹底などが原因と考えている。次年度は再びコーディネーターが変更となるが、問題点等を含めて引き継ぎを徹底して行い、円滑な講義の実施を行えるように努めたい。

科目名：臨床病態治療学Ⅲ（内科・外科系以外の疾患）

（看学科第3学年前期／必修）

履修者数：60 配付数：60 回収数：60 回収率：100.0%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	3.4	3.2	3.4	3.6	3.8

*評価に対するコメント

臨床病態治療学Ⅲ（内科・外科系以外の疾患）担当教員

臨床病態治療学Ⅲは今年度コーディネーターが変更となったため、講義や試験の実施等に不慣れな影響がでた可能性がある。そのため学生評価はやや低め（問6が3.8）という結果となった。次年度は再びコーディネーターが変更となるが、問題点を洗い出し、引き継ぎを緊密にすることで学生の満足のいく科目となるよう努めたい。

科目名：保健医療福祉システム論

(看学科第3学年前期／必修)

履修者数：60 配付数：56 回収数：42 回収率：75.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.6	3.9	3.4	3.8	3.9	4.0

*評価に対するコメント

保健医療福祉システム論担当教員

この科目は、保健医療福祉それぞれの特徴を理解しシステムを作っていくための制度や考え方について学ぶ内容です。まず社会福祉、保健の概念や考え方を整理したうえで、現場の方々によるオムニバスで講義を構成しました。地域の熱意ある専門職の方々の活動、病と共に生きる人々、経済的に苦しい人々の暮らしを深く理解し、医療だけでは解決できないことの気づきから看護の役割を考える機会になったことを期待しています。

科目名：地域包括ケア論Ⅲ（地域の課題解決）

（看学科第3学年前期／必修）

履修者数：60 配付数：59 回収数：27 回収率：45.8%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.4	3.8	3.2	3.6	3.7	3.7

*評価に対するコメント

地域包括ケア論Ⅲ（地域の課題解決）担当教員

この科目は、地域包括ケア実習での実践につなげるためのプログラムおよび今後の地域包括ケアの取り組みを検討します。科目の満足度は3.7、一般目標の達成度は3.6であり、昨年度から低下しました。自由記載に意見があった科目の位置づけの分かりにくさやmanabaの運用について、改善します。4年生との合同授業については、よりつながりが深まり、地域包括ケアに関する学びや課題が継承されるように企画をブラッシュアップしていきます。

科目名：成人看護学Ⅱ（主な健康障害と看護）

（看学科第3学年前期／必修）

履修者数：60 配付数：59 回収数：56 回収率：94.9%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.5	3.8	3.3	3.6	3.8	3.9

*評価に対するコメント

成人看護学Ⅱ（主な健康障害と看護）担当教員

科目の理解に関する問2は「3.8」、一般目標の達成に関する問4は「3.6」、講義全体の満足に関する問6は「3.9」であることから、学生の学習目標はおおむね達成できたと考えられる。しかし、復習に関する項目である問3は他項目よりも低かったため、次年度は講義開始のガイダンス時に学習内容の定着には復習が重要であることを、より一層強調していきたいと考える。

科目名：高齢者看護学Ⅱ（老年期の生活障害と看護）

（看学科第3学年前期／必修）

履修者数：60 配付数：60 回収数：53 回収率：88.3%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.6	3.9	3.4	3.8	3.9	3.9

*評価に対するコメント

高齢者看護学Ⅱ（老年期の生活障害と看護）担当教員

本科目の学生評価の回収率は88.3%であった。設問の平均値は3.4～3.9であり、全体の満足度の平均は3.9であった。予習に関する設問（問1）が3.6、復習に関する設問（問3）が3.4と低い傾向にあったため、講義資料の早期配信と講義の理解を促進する予習、復習の提示を検討していく。また、科目の理解について（問2）は3.9と低いものではないが、高齢者看護のあり方について学生が考えを表出できるような時間を設けるように工夫し、更なる理解促進に努めたいと考える。

科目名：在宅看護学

(看護学科第3学年前期／必修)

履修者数：60 配付数：60 回収数：44 回収率：73.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
4.0	3.8	3.2	3.6	4.0	4.0

*評価に対するコメント

在宅看護学担当教員

学生評価は60名中44名が提出し、7名が無効回答、37名の有効回答率は61.7%でした。在宅看護学の授業は、毎週木曜日の午後であり、予習用の小テストと授業の配布資料を準備し、前日の正午に公開するよう努めておりました(manabaがない時は授業時間に配布していた資料)。しかしながら、資料公開が遅いとの意見や、復習と予習の評価点に差があり、自律的に学習できるよう今後も改善に努めて参りたいと考えています。

科目名：がん看護学

(看護学科第3学年前期／必修)

履修者数：60 配付数：60 回収数：38 回収率：63.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.5	3.0	3.5	3.5	3.4

*評価に対するコメント

がん看護学担当教員

学生の誰しもが一度は出会うがん患者さんへのQOLをどのように理解し、支援するかについて努力し学ばれていました。その満足感が例年通りでした。特に、がん看護で重要なコミュニケーション場面の動画による学習の効果を報告していただきました。がん看護の基盤となる知識（理論と臨床）と技術を、このがん看護学を通してさらに満足が高まる学びにできるよう共に目指したいと思います。

科目名：チーム医療・リハビリテーション看護論

(看護学科第3学年前期／必修)

履修者数：60 配付数：60 回収数：57 回収率：95.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.4	3.8	3.4	3.8	3.8	4.0

*評価に対するコメント

チーム医療・リハビリテーション看護論担当教員

今年度も昨年同様に高い回収率(95%)であり、全体の意見を反映していると考えます。問6の本科目の総合評価は4.0と昨年と変わらなかったが、予習(問1)や復習(問3)については、毎年評価が低く、改善すべき項目である。予習を兼ねた小テストや講義後の確認テストなどを取り入れ、理解(問2)を深めていきたい。多数の専門家が講師となる講義形式のため、学生にとって受け身の授業であることから、参加型の講義を展開できるように次年度の授業構成や内容を検討する。

科目名：国際保健・災害看護論

(看護学科第4学年前期／必修)

履修者数：59 配付数：59 回収数：56 回収率：94.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.7	3.1	3.6	3.7	3.8

*評価に対するコメント

国際保健・災害看護論担当教員

身近な地域、北海道、日本、海外へと視野を広げ人々の生活や環境、健康は世界とつながっていること、そして災害看護の特徴の理解がこの科目の狙いです。世界には様々な価値観があり文化を尊重した看護、危機的な状況の中生活している方への看護、すなわち個別性のある看護が求められ原則に立ち返ったのではないのでしょうか。試験は若干難しかったようですが、覚えるべき基礎知識をしっかりと定着させていただけたらと思います。

科目名：看護管理・医療安全論

(看護学科第4学年前期／必修)

履修者数：59 配付数：59 回収数：55 回収率：93.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.7	3.7	2.7	3.6	3.7	3.7

*評価に対するコメント

看護管理・医療安全論担当教員

事前学習や授業後のレポート等を提示しない授業運営であったため、予習・復習が難しかったのではないかと思います。今後、事前に資料を公開するだけでなく、事前課題等の工夫が必要である。講義は抽象度の高い内容が多いが、事例を用いることで、理解の促進に繋がったのではないかと思います。

科目名：看護英語文献講読

(看護学科第4学年前期／選択必修)

履修者数：55 配付数：55 回収数：29 回収率：52.7%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.6	3.0	4.0	3.9	3.5

*評価に対するコメント

看護英語文献講読担当教員

看護英語文献講読は、3年生前期にGWで集中して展開しています。日米の文化的差異を理解する柔軟な姿勢とがん医療現場で活用できるBooklet（日本語版冊子）作成は、受講学生の皆さんにとってGメンバー同士でディスカッションし、助け合うが学びがあり看護者としてがん患者（小児含む）を効果的に支援する教育的アプローチに役立つ価値ある内容となっています。今後も図書館ディスカッションルームを活用し、満足度を高める評価につながっていくことに努めます。

科目名：がん看護学Ⅱ（がんサバイバーシップ）

（看学科第4学年前期／選択必修）

履修者数：28 配付数：28 回収数：15 回収率：53.6%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.5	3.5	3.7	3.9	3.8

*評価に対するコメント

がん看護学Ⅱ（がんサバイバーシップ）担当教員

がん看護学Ⅱ（がんサバイバーシップ）は、将来の実践に役立つことを期待されて受講者が一定して多くおられます。臨床で役立つことを期待される受講動機がほとんどですので、期待を実現するために、がん看護学Ⅰの学びの基盤に立ち、受講者とがんサバイバーシップにあるがん患者さんの進むコースを見据える力をつける講義とGW展開をしました。各メンバーのテーマに沿う展開は満足感を得られており、今後も期待に応える工夫を重ねていきます。

科目名：がん看護学Ⅲ（エンドオブライフケア）

（看学科第4学年前期／選択必修）

履修者数：14 配付数：14 回収数：11 回収率：78.6%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.7	4.0	3.0	3.6	4.0	4.0

*評価に対するコメント

がん看護学Ⅲ（エンドオブライフケア）担当教員

がんサバイバーシップに続くがんとその共生のコースを終える患者さんとその家族のエンドオブライフについて、積極的に探究し課題を見出し今後の実践につながるケアの方向性を見出すことができていました。満足度も高い成果を得られました。さらなるがんエンドオブライフケアを一緒に探究したいと思います。